

新型コロナウイルス感染症流行下の 日本人旅行者の動向（その17）

～JTBF旅行意識調査結果より～

2022年3月14日

公益財団法人日本交通公社
観光文化振興部・観光地域研究部

調査結果

- 1. コロナ禍における旅行意向 …… p.4

- 2. コロナ禍での旅行実施の判断 …… p.8
 - (1) 政府・自治体の要請への意識
 - (2) 国内旅行の実施に影響を及ぼす項目
 - (3) 海外旅行の実施条件

- 3. 今後の旅行で行きたい地域・あまり行きたくない地域 …… p.12

調査概要

調査名 : JTBF旅行意識調査
調査対象 : 全国18～79歳の男女（調査会社のパネルより抽出*）
調査方法 : 郵送自記式調査*

■ 21年5月調査 調査期間：2021年5月26日～6月16日

年齢（歳）	男性								女性								合計
	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	
標本の大きさ（人）	14	108	126	151	113	127	110	749	13	103	105	132	106	149	116	724	1,473
構成比（%）	1.0	7.3	8.6	10.3	7.7	8.6	7.5	50.8	0.9	7.0	7.1	9.0	7.2	10.1	7.9	49.2	100.0

■ 21年12月調査 調査期間：2021年11月24日～12月30日

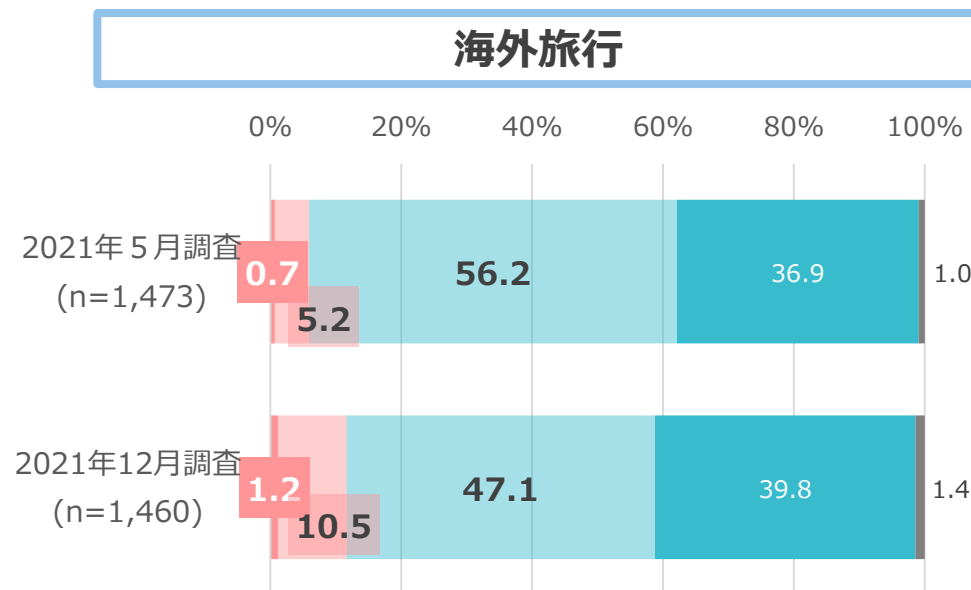
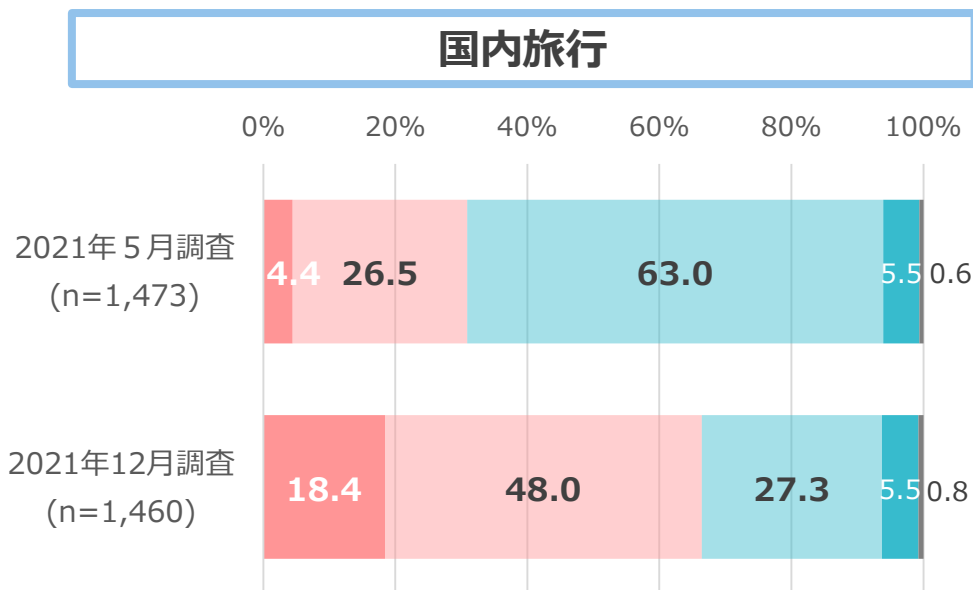
年齢（歳）	男性								女性								合計
	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	18-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	
標本の大きさ（人）	19	75	102	135	114	152	97	694	20	84	112	150	123	145	132	766	1,460
構成比（%）	1.3	5.1	7.0	9.2	7.8	10.4	6.6	47.5	1.4	5.8	7.7	10.3	8.4	9.9	9.0	52.5	100.0

*国勢調査時の人口に基づき、住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割り当てた。これにより、地域、性年代の偏りなく調査対象を抽出した。
その上で郵送により調査票を送付し、回答者自身が記入を行う自記式により回答を得た。

コロナ禍での旅行 国内旅行は6割以上が行きたいと回答

- 現在のコロナ禍において、観光レクリエーション旅行へ行きたいかを尋ねました。国内旅行は21年5月調査では「新型コロナウイルスが流行しているので、行きたくない」が6割を超えましたが、21年12月調査では3割弱に減少し、代わりに「行きたいと思っており、具体的に予定・検討している」と「行きたいと思っっているが、実施するか迷っている」があわせて6割を超えました。国内旅行への意向はある程度回復してきているようです。
- 海外旅行では、「行きたい（具体的に予定・検討している+実施するか迷っている）」は、21年12月調査でも約1割にとどまり、依然として慎重な姿勢が見られました。

Q. 現在のコロナ禍において、観光レクリエーション旅行へ行きたいと思いませんか。



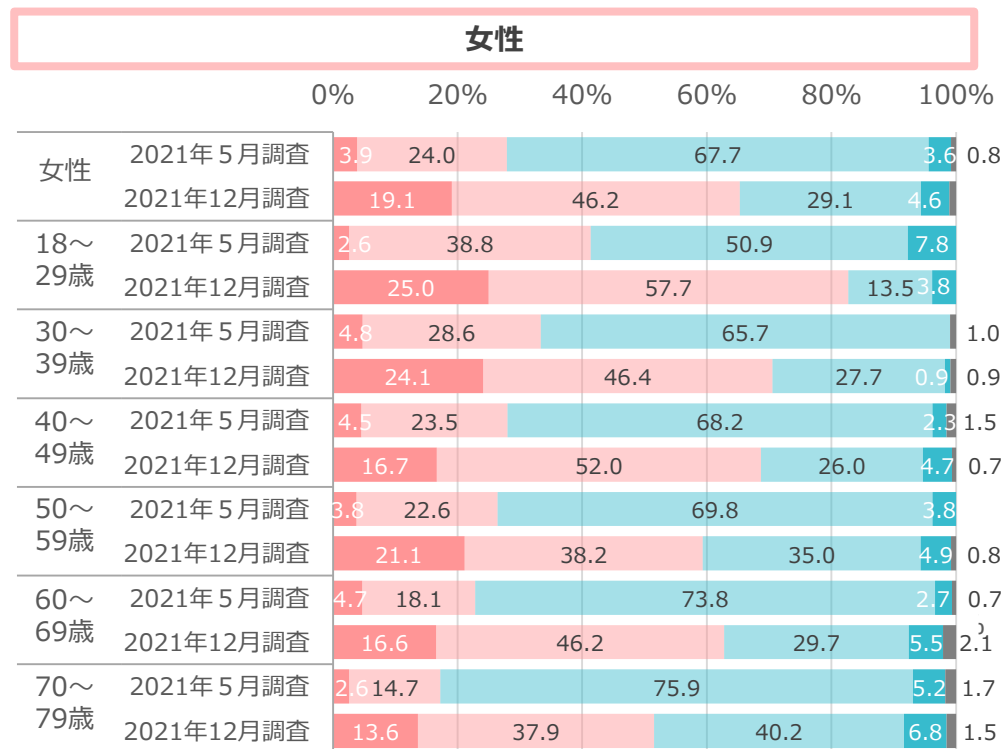
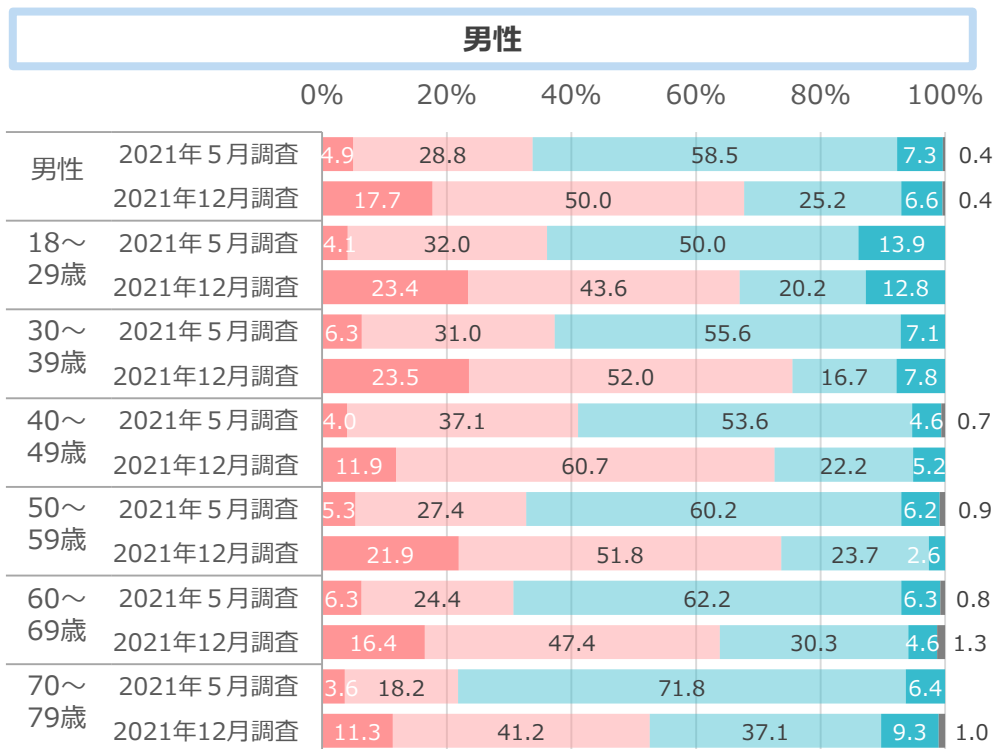
- 行きたいと思っっているが、実施するか迷っている
- 行きたいと思っっている
- 新型コロナウイルスが流行しているので、行きたくない
- 無回答

- 行きたいと思っっているが、実施するか迷っている
- 行きたいと思っっている
- 新型コロナウイルスの流行に関係なく、旅行には行きたくない

コロナ禍における国内旅行 20代女性は意欲的・70代は依然として慎重

- コロナ禍における国内旅行への意欲は、21年12月調査では男女ともに6割以上が「行きたい (具体的に予定・検討している+実施するか迷っている)」と回答しました。
- 21年12月調査で「行きたい」が多かったのは、男性では30代~50代、女性では20~30代で、特に20代女性は8割を超えました。一方で、70代は男女ともに「新型コロナウイルスが流行しているので、行きたくない」が約4割を占め、21年5月調査に引き続き慎重な姿勢が見られました。

Q. 現在のコロナ禍において、国内の観光レクリエーション旅行へ行きたいと思えますか。(性年代別)



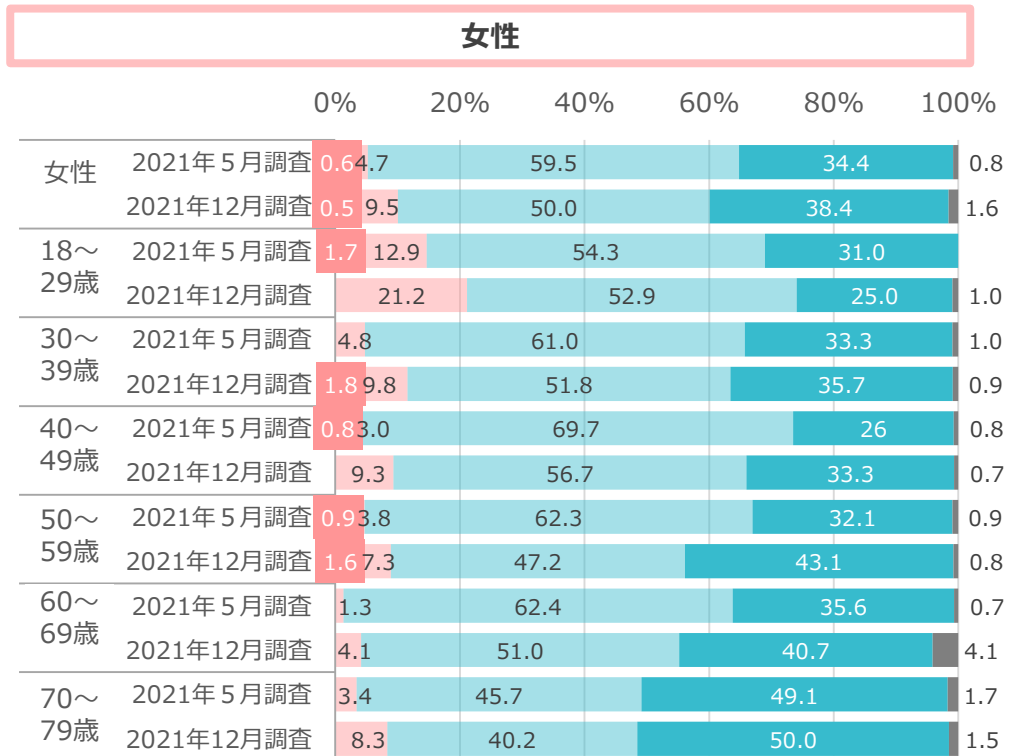
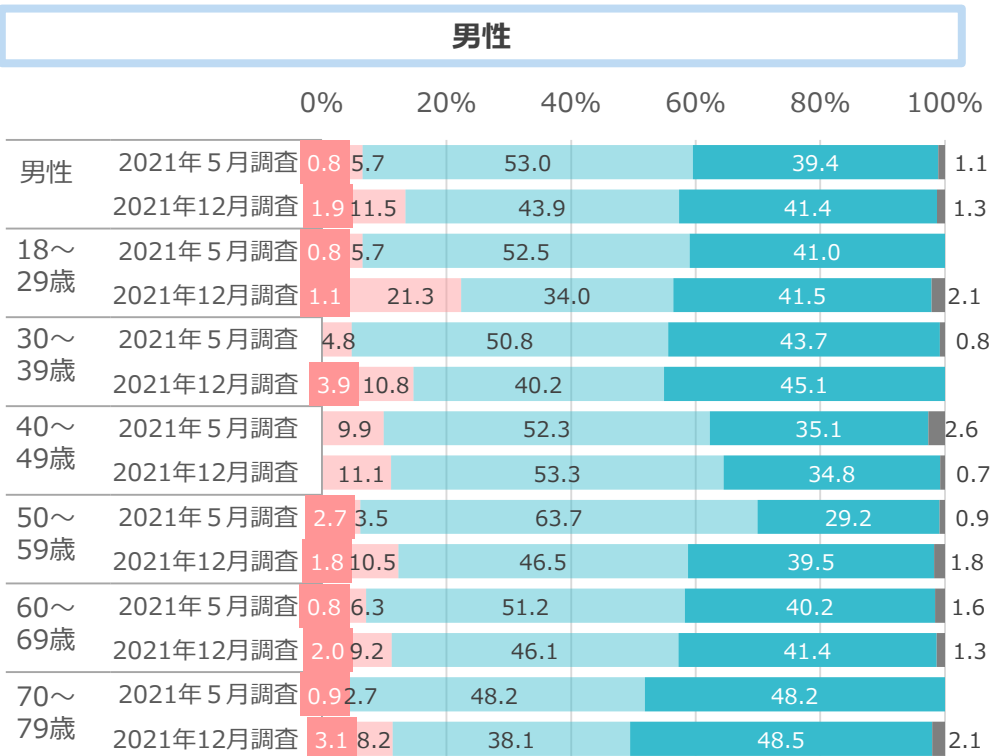
■ 行きたいと思っており、具体的に予定・検討している
■ 新型コロナウイルスが流行しているため、行きたくない
■ 無回答

■ 行きたいと思っているが、実施するか迷っている
■ 新型コロナウイルスの流行に関係なく、国内旅行には行きたくない

コロナ禍における海外旅行 男女ともに「行きたい」は1割ほど

- コロナ禍における海外旅行への意欲は、男女ともに21年5月調査と比較して増加したものの、「行きたい（具体的に予定・検討している+実施するか迷っている）」は1割程度にとどまりました。
- 年代別では、20代では「行きたい」が2割を超えたものの、コロナ禍での海外旅行に対しては、どの世代でも慎重な姿勢が見られました。

Q. 現在のコロナ禍において、海外の観光レクリエーション旅行へ行きたいと思えますか。(性年代別)



■ 行きたいと思っており、具体的に予定・検討している
■ 新型コロナウイルスが流行しているため、行きたくない
■ 無回答

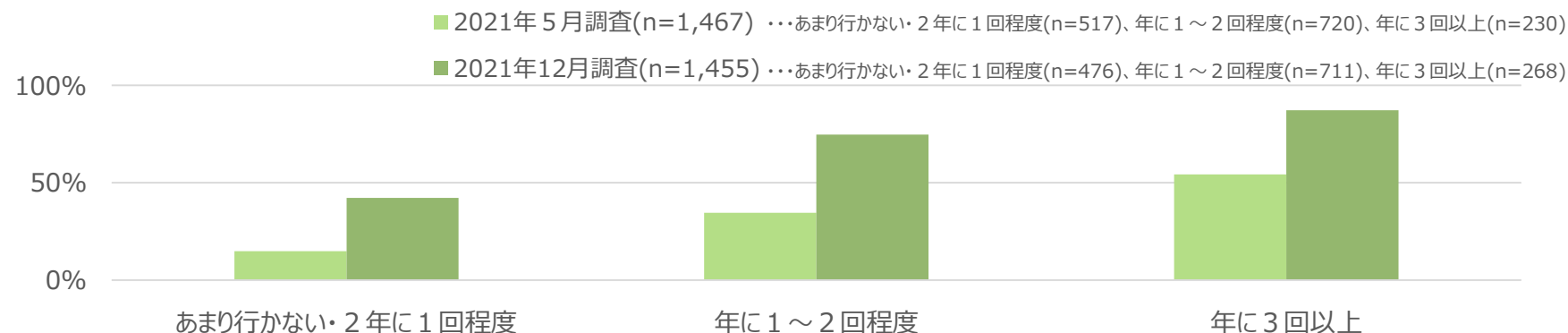
■ 行きたいと思っているが、実施するか迷っている
■ 新型コロナウイルスの流行に関係なく、海外旅行には行きたくない

コロナ禍での国内旅行意向 普段の旅行頻度によらず回復傾向

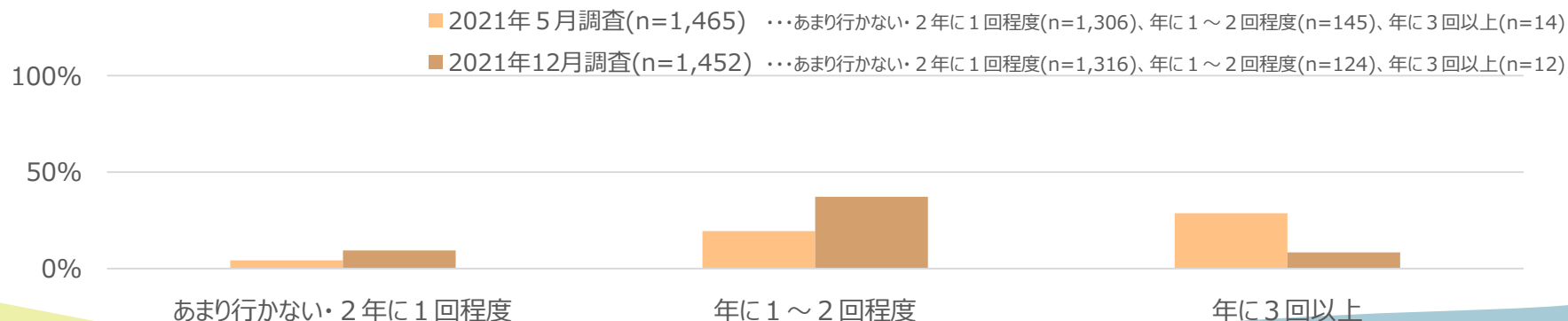
- 普段の旅行頻度別に「行きたい（具体的に予定・検討している+実施するか迷っている）」の割合を見ると、国内旅行では旅行頻度が少ない層から多い層まで、21年5月調査から21年12月調査にかけて旅行意向が高まり、回復傾向が見られました。
- 海外旅行では、年に1～2回程度の層のみ国内旅行と同様に旅行意向が高まりました。

現在のコロナ禍において、観光レクリエーション旅行へ「行きたい」と回答した割合（普段の旅行頻度別）

国内旅行



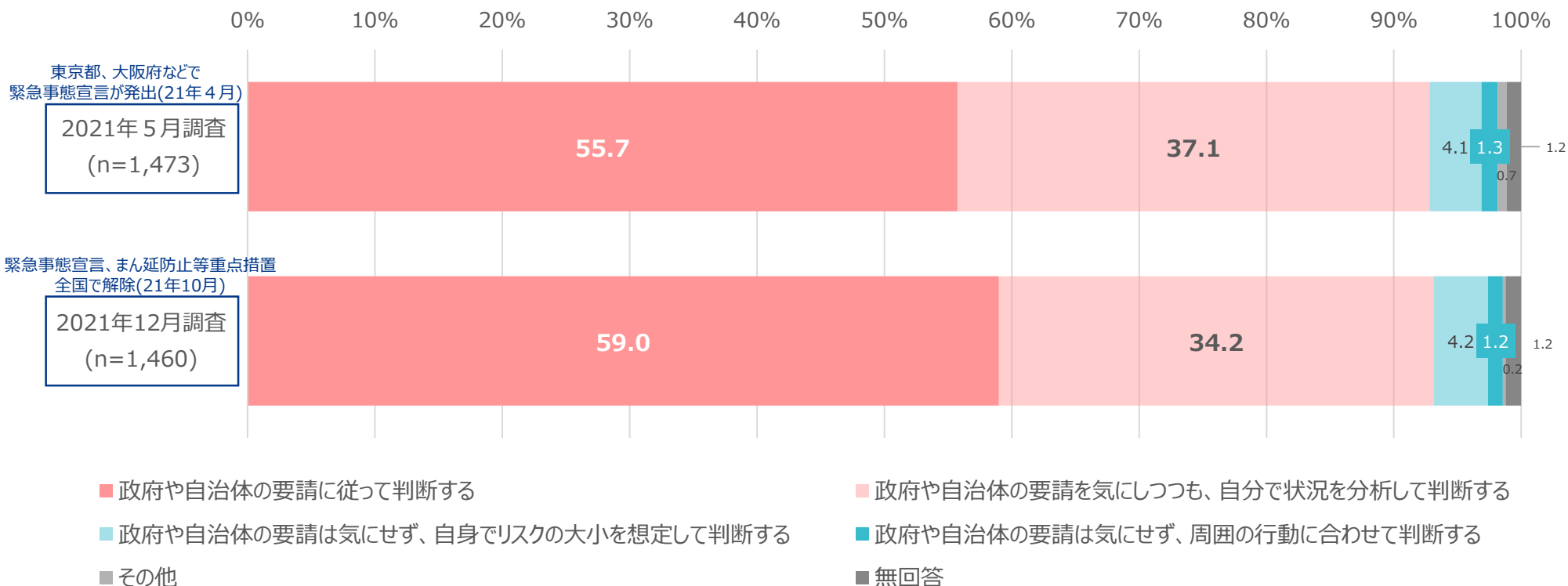
海外旅行



要請の発出状況に関わらず、6割が従って判断する

- 旅行を実施するかを判断するときに政府や自治体の要請を意識するかを尋ねたところ、21年5月調査、21年12月調査いずれも「要請に従って判断する」が6割弱を占めました。
- 21年5月は一部地域で緊急事態宣言が発出されていた一方で、21年12月には要請はすべて解除されていました。しかし、公的要請への意識に大きな差は見られませんでした。

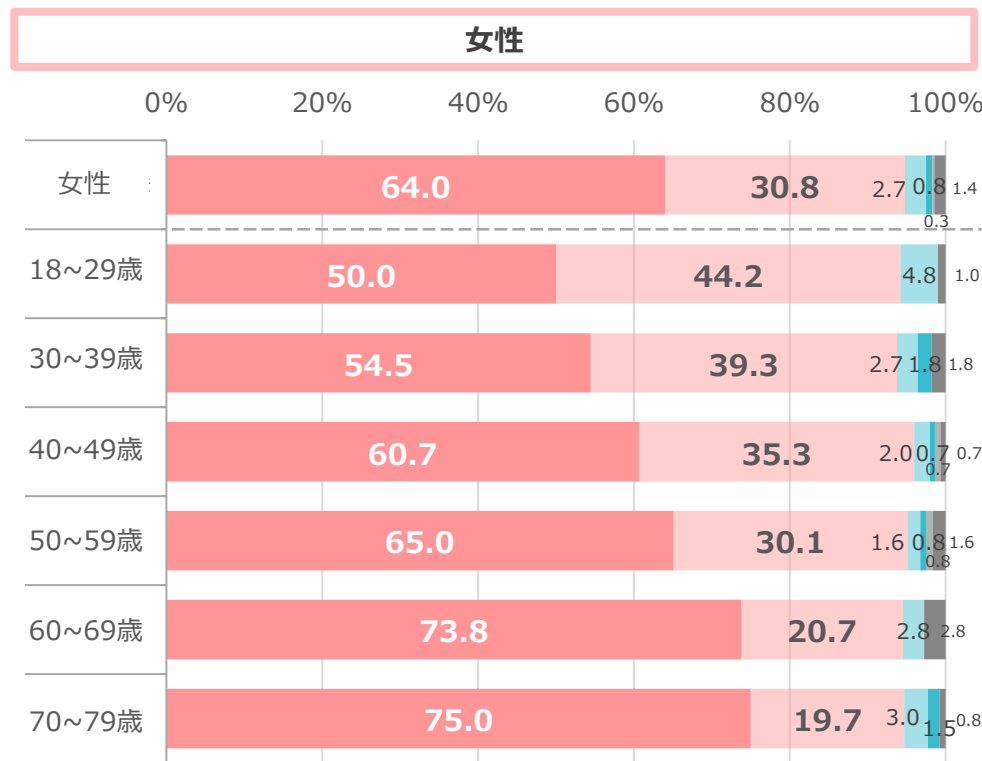
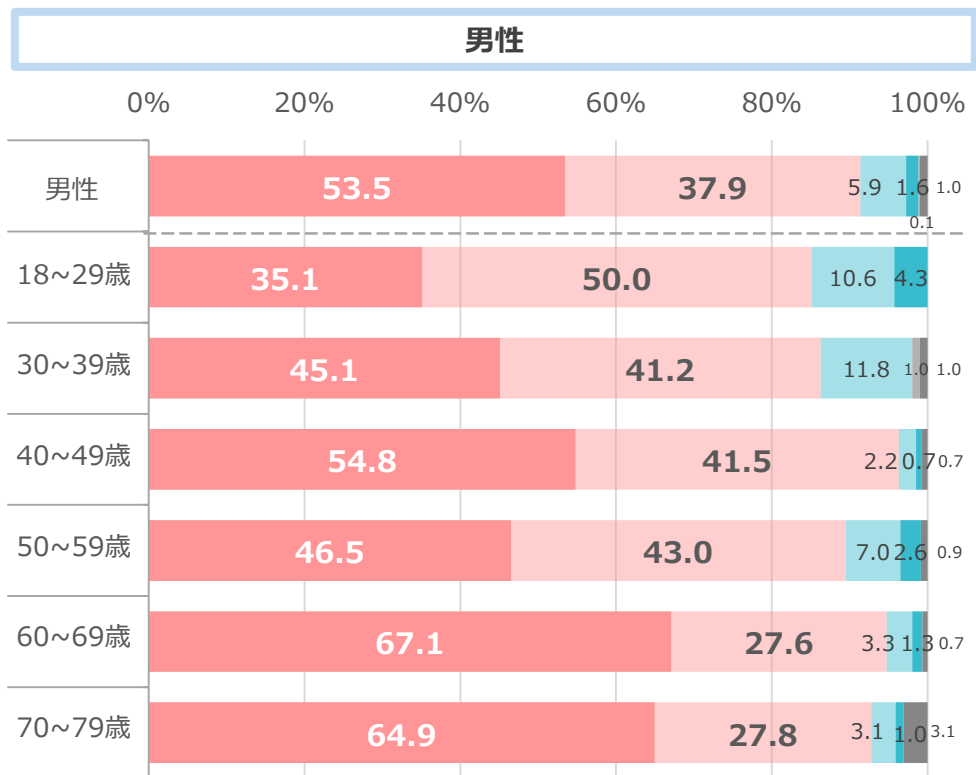
Q. 旅行を実施するかどうかを判断するときに、政府や自治体の要請（外出自粛、来訪自粛等）をどの程度意識しますか。



政府や自治体の要請 女性の方が従って判断する傾向

- 政府や自治体の要請に対する意識を性別に見ると、「要請に従って判断する」は男性5割、女性6割となり、いずれの年代も男性より女性の方が公的な要請に従う傾向が見られました。
- さらに女性の中では年代が上がるほど「要請に従って判断する」が高まり、男性でも60代以上は6割を超えました。

Q. 旅行を実施するかどうかを判断するときに、政府や自治体の要請（外出自粛、来訪自粛等）をどの程度意識しますか。
 <21年12月調査>



- 政府や自治体の要請に従って判断する
- 政府や自治体の要請は気にせず、自分で状況を分析して判断する
- 政府や自治体の要請は気にせず、自身でリスクの大きさを想定して判断する
- その他

- 政府や自治体の要請を気にしつつも、自分で状況を分析して判断する
- 政府や自治体の要請は気にせず、周囲の行動に合わせて判断する
- 無回答

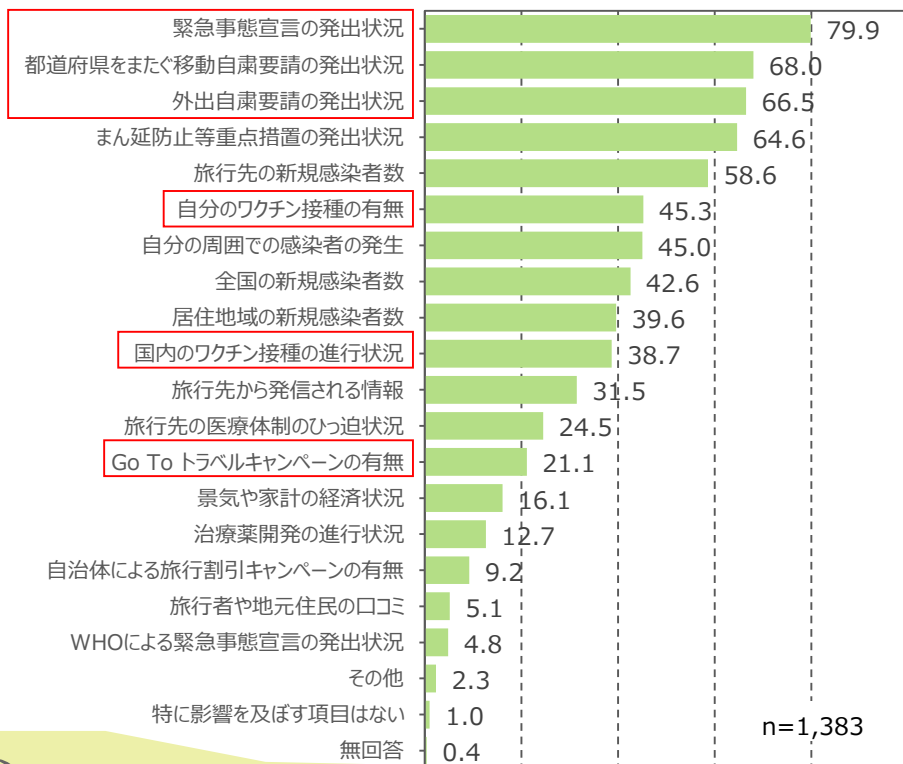
国内旅行の実施判断には緊急事態宣言の発出が強く影響

- 国内旅行を実施するにあたって影響を及ぼす項目の上位3位は、21年5月調査と同じく「緊急事態宣言」、「都道府県をまたぐ移動自粛要請」、「外出自粛要請」が挙げられました。
- 21年5月調査と比べて順位を下げたのは「自分のワクチン接種の有無」や「国内のワクチン接種の進行状況」でした。これは、国内におけるワクチン接種が進んだことでワクチンに関する項目を重視する度合いが相対的に低下したものと考えられます。逆に、順位を上げたのは「Go To トラベルキャンペーンの有無」となり、旅行支援策への期待が高まっていることがうかがえます。

Q. 現在のコロナ禍において、国内の旅行を実施するかどうかを判断するときに影響を及ぼす項目は何ですか。【複数回答】

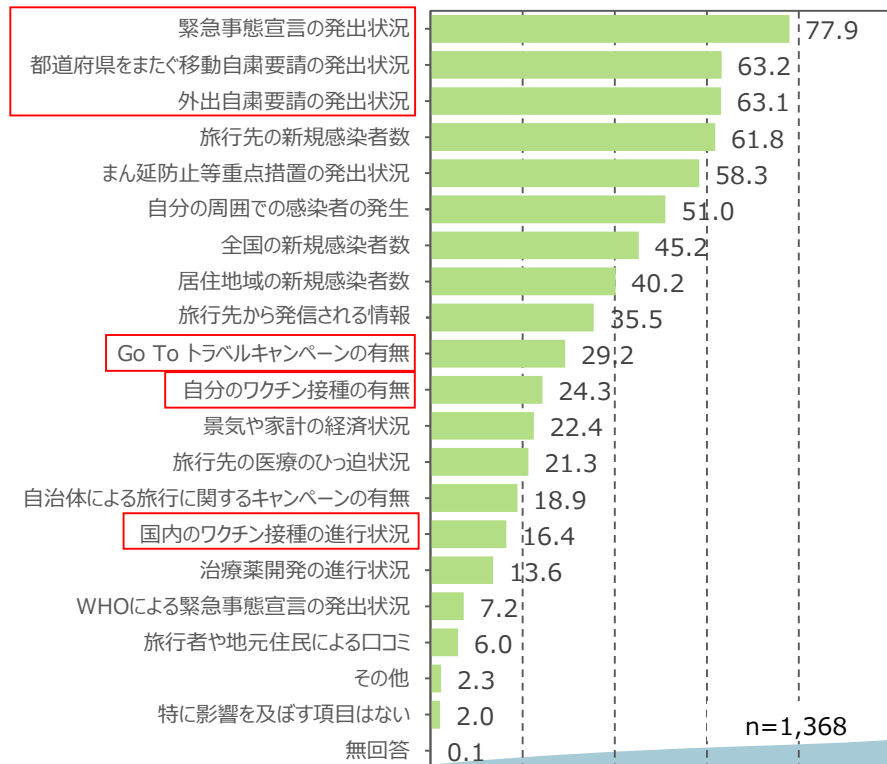
<21年5月調査>

0% 20% 40% 60% 80% 100%



<21年12月調査>

0% 20% 40% 60% 80% 100%

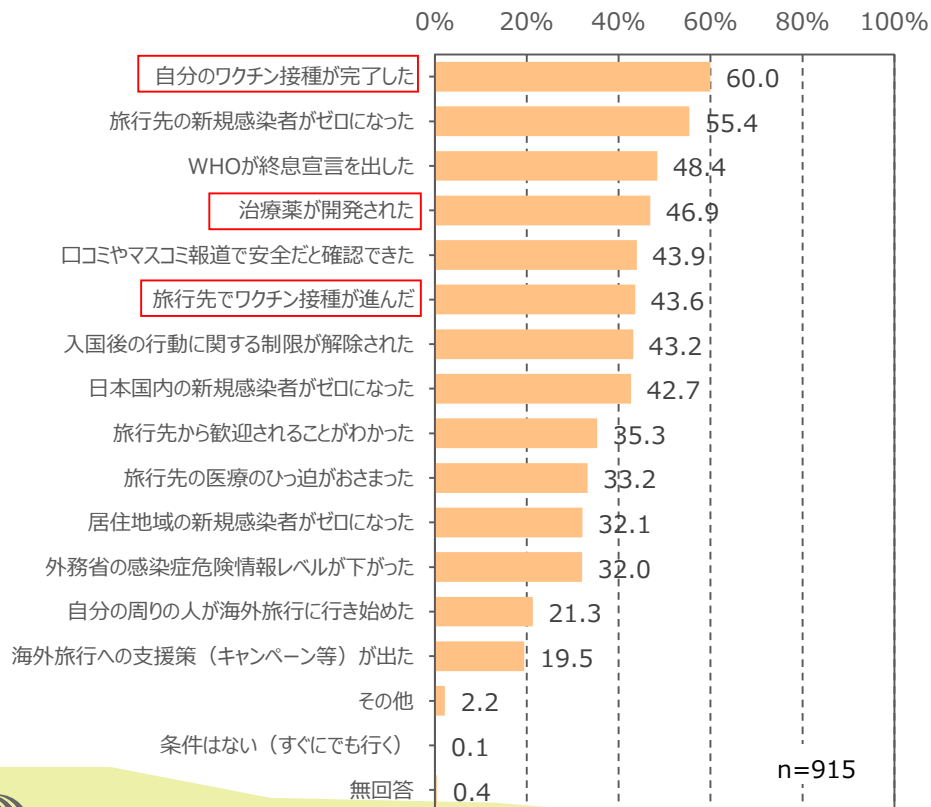


海外旅行の実施の条件 **旅行先の感染者ゼロが1位**

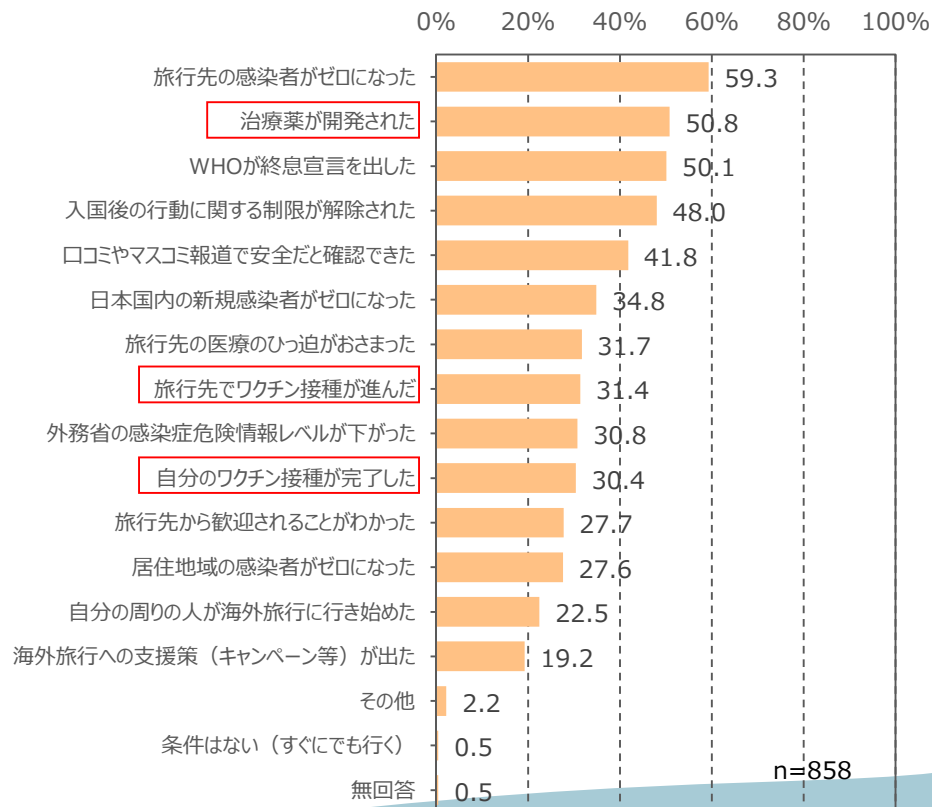
- 国内でのワクチン接種が進んだことにより、「自分のワクチン接種が完了した」は6割から3割に減少し、「旅行先でワクチン接種が進んだ」も順位を下げました。代わりに、「治療薬の開発」が順位を上げ2位となりました。
- 「旅行先の新規感染者がゼロになった」、「WHOが終息宣言を出した」は21年5月調査に引き続き上位を占めました。

Q. 渡航制限や旅行先の入国制限が緩和された後、どのような条件が満たされれば海外の旅行を実施したいと思いますか。【複数回答】

<21年5月調査>



<21年12月調査>



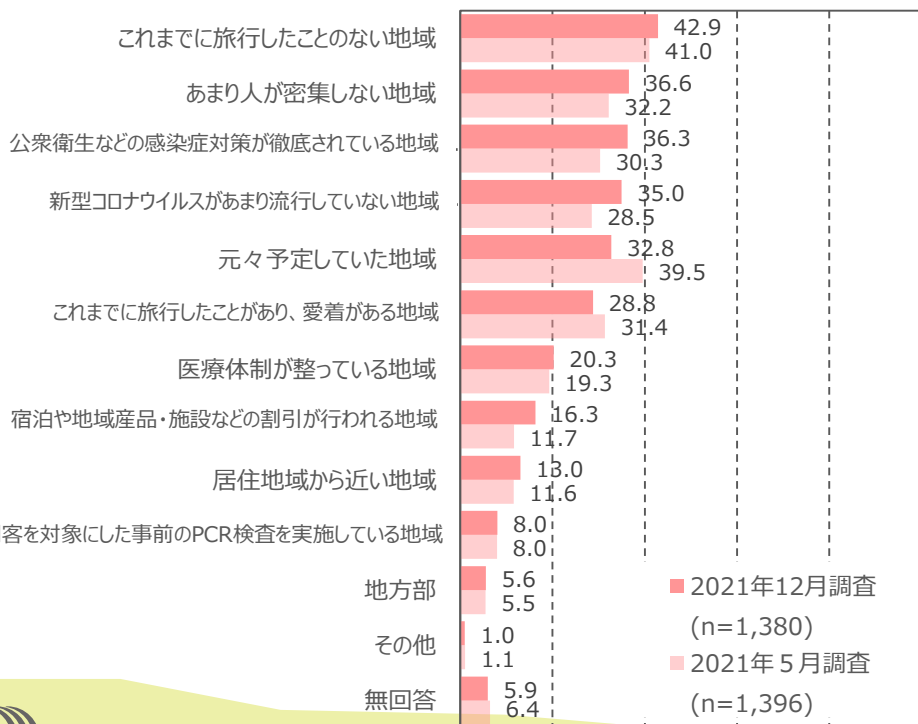
今後の旅行先の選択 感染症対策や密の回避は必要条件

- 今後の旅行で行きたい地域では「これまでに旅行したことのない地域」や「人が密集しない地域」、あまり行きたくない地域では「感染者が多い地域」、「感染症対策が徹底されていない地域」、「人が密集しやすい地域」が上位となりました。この結果は、21年5月調査とほぼ変わっていません。
- 以上より、「これまでに旅行したことのない地域」に行きたいと思う一方で、新型コロナウイルスの感染不安がある地域は避けたいという旅行者の心理をうかがえます。今後の観光地側では、感染症対策は当然のものとして徹底した上で、地域ならではの魅力を発信することが旅行者の獲得において重要と考えられます。

Q. 今後の旅行では、どのような地域に行きたい／あまり行きたくないと思いますか。【複数回答】

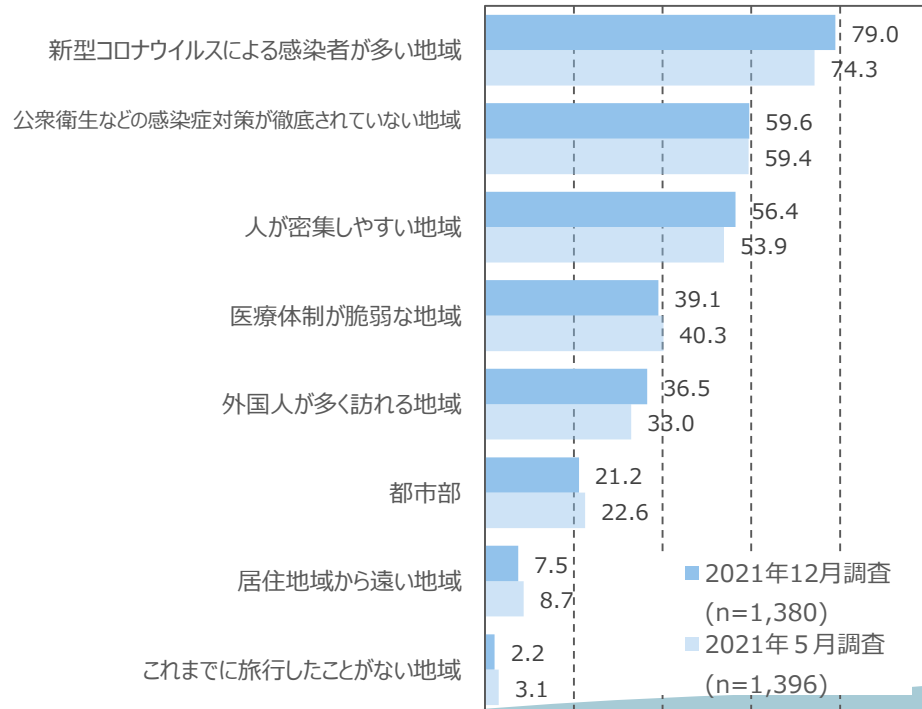
行きたい地域

0% 20% 40% 60% 80% 100%



あまり行きたくない地域

0% 20% 40% 60% 80% 100%



新型コロナウイルス感染症流行下の日本人旅行者の動向（その17）

～ JTBF旅行意識調査結果より ～

2022年3月14日発行

公益財団法人日本交通公社

観光文化振興部・観光地域研究部

五木田 玲子 / 安原 有紗 / 仲 七重

- 本資料は著作物であり著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い引用する際は必ず出所を明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する場合は著作権者の許諾が必要です。下記お問合せ先までご連絡ください。

公益財団法人日本交通公社 観光文化振興部

電話番号：03-5770-8360

Website：<https://www.jtb.or.jp/>